

44 ( '09 横浜国立大 )

【難易度】… 標準

数列  $\{a_n\}, \{b_n\}, \{c_n\}$  を  $a_1 = 3, b_1 = 8, c_1 = 24$  と関係式

$$\begin{cases} a_{n+1} = 2a_n + b_n \\ b_{n+1} = 4b_n + c_n \\ c_{n+1} = 8c_n \end{cases} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

で定める.

- (1)  $b_n$  を  $n$  の式で表せ.
- (2)  $a_{n+3} - a_n$  は 7 で割り切れることを示し,  $a_n$  が 7 で割り切れるための  $n$  の条件を求めよ.

【テーマ】: 連立漸化式

方針

数列  $\{c_n\}$  は等比数列なので, まずは  $c_n$  を求めます. そうすると  $b_n$  を求めることができます. (2) では, 与えられた漸化式を用いて  $a_{n+3} - a_n$  を計算してみます. また,  $a_n$  が 7 で割り切れる条件は,  $a_1, a_2, a_3, \dots$  を計算してみて規則性を調べてみましょう.

解答

- (1) 数列
- $\{c_n\}$
- は初項 24, 公比 8 の等比数列であるから,

$$c_n = 24 \cdot 8^{n-1} = 3 \cdot 8^n$$

である. したがって,  $b_{n+1} = 4b_n + 3 \cdot 8^n$  の両辺を  $8^{n+1} \neq 0$  で割ると,

$$\frac{b_{n+1}}{8^{n+1}} = \frac{1}{2} \cdot \frac{b_n}{8^n} + \frac{3}{8}$$

である.  $d_n = \frac{b_n}{8^n}$  とおくと,  $d_1 = \frac{b_1}{8} = 1$  であり,

$$d_{n+1} = \frac{1}{2}d_n + \frac{3}{8} \iff d_{n+1} - \frac{3}{4} = \frac{1}{2}\left(d_n - \frac{3}{4}\right)$$

であるから, 数列  $\left\{d_n - \frac{3}{4}\right\}$  は初項  $d_1 - \frac{3}{4} = \frac{1}{4}$ , 公比  $\frac{1}{2}$  の等比数列である. ゆえに,

$$d_n - \frac{3}{4} = \frac{1}{4} \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} \iff d_n = \frac{3}{4} + \left(\frac{1}{2}\right)^{n+1}$$

よって,

$$b_n = 8^n \left\{ \frac{3}{4} + \left(\frac{1}{2}\right)^{n+1} \right\} \iff b_n = 3 \cdot 2^{3n-2} + 2^{2n-1} \dots (\text{答})$$

- (2) 【証明】

与えられた漸化式から,

$$\begin{aligned} a_{n+3} - a_n &= 2a_{n+2} + b_{n+2} - a_n \\ &= 2(2a_{n+1} + b_{n+1}) + (4b_{n+1} + c_{n+1}) - a_n \\ &= 4a_{n+1} + 6b_{n+1} + c_{n+1} - a_n \\ &= 4(2a_n + b_n) + 6(4b_n + c_n) + 8c_n - a_n \\ &= 7a_n + 28b_n + 14c_n \\ &= 7(a_n + 4b_n + 2c_n) \end{aligned}$$

ここで,  $a_1, b_1, c_1$  は整数であるから, 与えられた漸化式より,  $a_n, b_n, c_n$  は任意の自然数  $n$  に対して整数であることがわかるので,  $a_{n+3} - a_n$  は 7 で割り切れることが示された. (証明終)

次に, 数列  $\{a_n\}$  について,

$$a_1 = 3$$

$$a_2 = 2a_1 + b_1 = 14 = 7 \cdot 2$$

$$a_3 = 2 \cdot 14 + 3 \cdot 2^4 + 2^3 = 2 \cdot 14 + 56 = 7 \cdot 12$$

であるから,  $a_1$  は 7 で割り切れず,  $a_2, a_3$  は 7 で割り切れる.

$a_{n+3} - a_n = 7k$  ( $k$  は自然数) と表されるので,  $a_{n+3} = a_n + 7k$  であるから,  $l$  を自然数として,

$$a_1, a_4, a_7, \dots, a_{3l-2} \quad 7 \text{ で割り切れない}$$

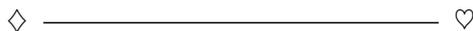
$$a_2, a_5, a_8, \dots, a_{3l-1} \quad 7 \text{ で割り切れる}$$

$$a_3, a_6, a_9, \dots, a_{3l} \quad 7 \text{ で割り切れる}$$

であることがわかる. 以上より,  $a_n$  が 7 で割り切れるための  $n$  の条件は,  $l$  を自然数として,

$$n = 3l, 3l - 1 \dots \text{(答)}$$

である.



#### 解説

(1) は, 連立漸化式を解く問題ですが, 実際には, 一つずつ漸化式を解けばよいので, 基本的な漸化式の解法が身に付いていれば基本問題です.

(2) は, 与えられた漸化式を用いて  $a_{n+3} - a_n$  を式変形すれば  $7(a_n + 4b_n + 2c_n)$  という形を得ることができますが, これでいきなり 7 の倍数と言ってしまうのはいけません.  $a_n + 4b_n + 2c_n$  が整数であることを述べて初めて 7 の倍数であることがわかるからです. また, これを示すことで数列  $\{a_n\}$  の各項を 7 で割った余りは 3 を周期に変化することに気が来ましょう. 後半の証明はこれを用います. まずは,  $a_1, a_2, a_3$  を計算して, 最初の状態を把握します. あとは,  $a_{n+3} = a_n + 7k$  という形から, 7 で割った余りが周期的に変化することを述べれば  $n$  の条件が 3 で割った余りで分類できることがわかるでしょう.